

部局名

農学部 海洋生物環境学科

担当: 田岡 洋介



テーマ

マルチプレーヤー「微生物」の有効利用



### 微生物を用いた新しい養殖業のカタチ

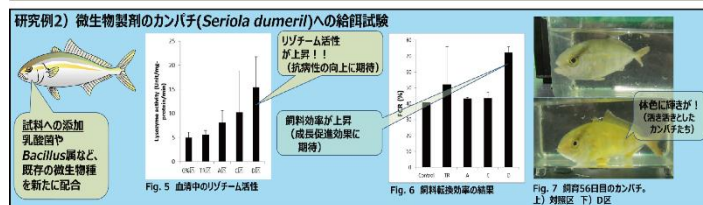
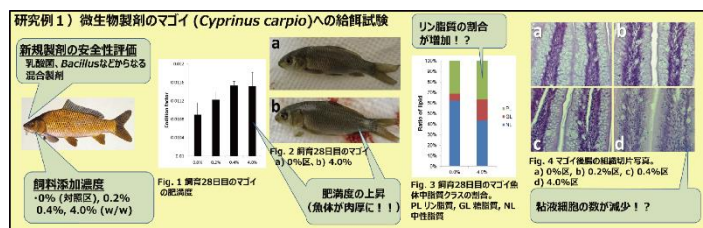
養殖場では様々な病気が発生することがあり、その抑制には人間と同じように抗生物質などの薬剤が用いられています。

近年、薬剤を用いない乳酸菌などの有用な微生物 (Probiotics) を用いた魚病予防法が期待されています。このように微生物は農業、水産、食品、物質生産など、様々な分野でマルチな才能を発揮しています。

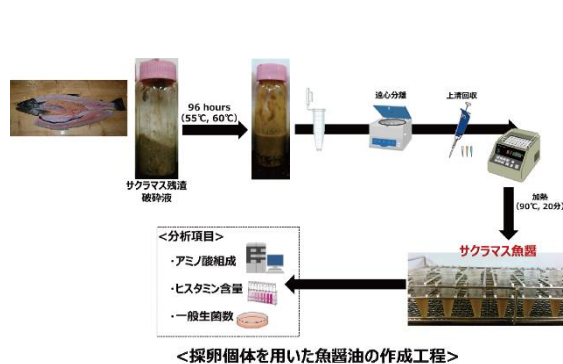


詳細内容はQRコードから確認できます

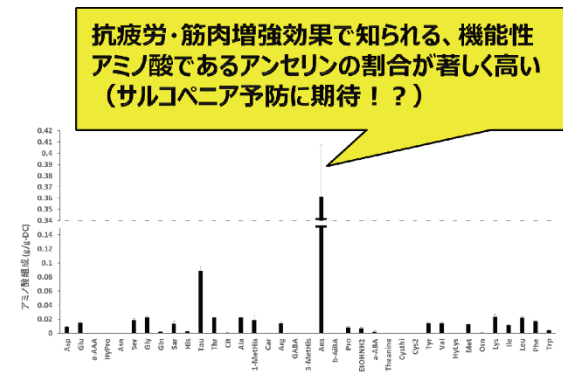
のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-fishery/post-37.html>



Bacillus や乳酸菌といった有用微生物を飼料に添加し、コイやカンパチといった養殖魚に給餌します。すると養殖魚の成長促進・肉質が改善され、また免疫活性の亢進に伴う、魚病耐性の向上といった種々の効果が確認されました!!



海洋生物環境学科の内田教授らがサクラマスの巨大化技術に成功しました。この巨大サクラマスの採卵後の個体を利用した機能性魚醤の開発を目指します!!



採卵後のみやざきサクラマスを用いた魚醤中遊離アミノ酸組成。機能性アミノ酸として知られるアンセリン含量が著しく高い、特徴的な魚醤油ができました。